

第2回 和光市部活動地域移行検討委員会 議事録

日 時	令和6年6月28日(金) 午前10時00分～12時00分
場 所	和光市中央公民館 2階 会議室
出席委員	横山委員 朽木委員 新坂委員 高野委員 塚田委員 佐藤委員 川端委員 畠谷委員

1 開会・挨拶

横山教育部長が会長として就任。部活動地域移行の方向性を再検討し、子どもたちの未来を守るために議論を呼びかけ。

2 前回の振り返り

- 部活動の教育的效果や教員負担軽減の必要性を確認。
- 和光市の進め方、条件整備、先行事例の情報収集の必要性が指摘。
- 地域受け皿や指導者ライセンスの課題も議論。

3 国・県の動向

大きな進展なし。段階的移行を推奨。全国大会9種目が令和9年度から廃止予定。大会運営主体は学校から競技団体へ移行の見込み。

4 先行事例

- 白岡市：令和3年度から実証開始。委託先はPTA→企業→総合型地域スポーツクラブへ変遷。課題は指導者確保・費用負担。
- 蕨市：令和5年度に3か月間の実証。国補助金活用。

5 主な協議内容

(1) 課題認識

- 教員負担軽減と子どもの健全育成を両立。
- 教育目的の共有が不可欠。
- 受益者負担や予算確保の必要性。
- 文化部の扱い、吹奏楽などの特殊性も考慮。

(2) 方向性

- 当面は土日の活動から地域移行を検討。
- 学校顧問と外部指導者の連携を重視。
- 既存資源（スポーツ協会、吹奏楽連携、大学生、プロチーム）を活用。
- 実証事業は令和8年度を目標、基本方針は令和9年度策定、令和10年度から本格移行

(3) 意見・提案

- 小規模から柔軟に試行開始。
- 指導者の適正化・研修体制整備。
- 種目ごとの大会参加条件整理。
- 文化系も含めた事例提示と予算見通しを次回までに。

6 今後の予定

- 第3回までにスポーツ・文化系の事例等を提示。
- 実証事業の前倒し可能性を検討。
- 秋の予算編成に向けて具体案を整理。